

世界自然遺産への推薦について

— 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島 —

資産名

奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島

世界遺産としての顕著で普遍的価値

<クライテリア ix 生態系>

大陸から分離し、小島嶼が成立した地史を反映する独自の生物進化がみられる。

<クライテリア x 生物多様性>

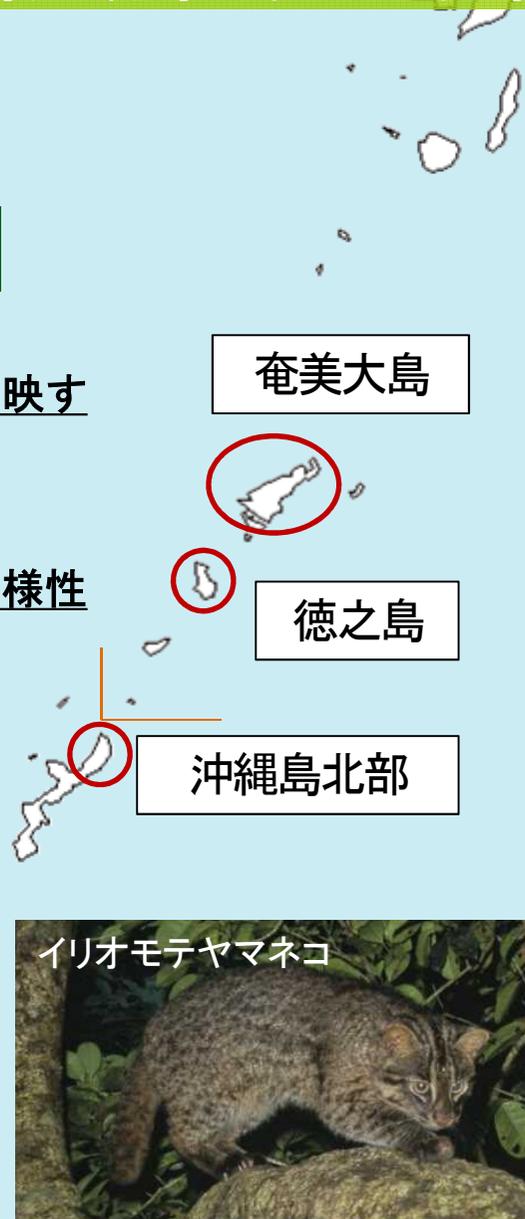
国際的にも希少な固有種に代表される生物多様性保全上重要な地域である。

保護担保措置

国立公園、森林生態系保護地域など

共同推薦省庁

環境省、林野庁



世界遺産登録に向けた経緯と今後のプロセス

2003年5月: 専門家による「世界自然遺産候補地に関する検討会」を開催し(環境省、林野庁合同)、世界自然遺産の候補地3地域を選定。

- ・このうち「知床」は2005年に、「小笠原諸島」は2011年に世界遺産として登録
- ・残る「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の登録に向けて、国が責任をもって管理することのできる国立公園等の保護地域の指定等の準備を進める。

2013年1月: 関係省庁連絡会議において、世界遺産暫定一覧表(暫定リスト)に追記することを政府として決定

2013年2月: ユネスコ世界遺産センターへ暫定リスト追記申請書提出

2013年5月: 「世界自然遺産候補地科学委員会」の設置(推薦区域、推薦書の検討開始)

2016年2月: ユネスコ世界遺産センターへ暫定リスト追記申請書再提出(暫定リスト掲載)

<国内作業(国立公園の指定・森林生態系保護地域の設定等)>

- 西表島 **2015年7月**: 西表島森林生態系保護地域の拡張
2016年4月: 西表石垣国立公園の大規模拡張
- 沖縄島北部 **2016年9月**: やんばる国立公園の新規指定
- 奄美大島及び徳之島
2013年3月: 奄美群島森林生態系保護地域の設定
2016年12月: 奄美群島国立公園の新規指定に係る審議会諮問・答申
(2017年春頃に指定予定)

2017年1月: 推薦案件について、関係省庁連絡会議において確認後、閣議了解

2017年2月1日: ユネスコ世界遺産センターへ推薦書提出

2017年夏～秋頃: 世界遺産委員会諮問機関(IUCN)による現地調査及び評価

2018年夏頃: 世界遺産委員会における審議(世界遺産登録の可否決定)